



# News Letter



## CONTENTS

- 2-3 Pick up NPO
  - ・NPO法人 サーチドッグふくしま
  - ・NPO法人 南湖森林公園案内人の会
- 4-5 無理のない防災を考える
- 6 チャレンジインターンシップ活動報告
- 7 ・マッチング事業経過報告  
・「映画でまちづくり」を考える
- 8 ・ほっと一息ブレイクタイム ～会津地区篇～  
・助成金情報

## Let's SDGs!

### 第2弾



### ～みんなであつながる・つくる世界～

私たちを取り巻く地域の課題に対応するために数多くの取り組みが行われています。このような取り組みを通じて持続可能な社会づくりを目指す担い手を紹介します。

今回は会津若松市で就労継続支援B型事業所「COLORFUL」を運営し、障がい者の生きがいづくりと地域との共生を目的に活動する、NPO法人CHANT代表の小野忠浩さんにインタビューしました。



代表の小野さん



就労継続支援B型事業所

### 活動団体 レポート

## COLORFUL

### Q.1 どんな思いでこの取組を行っていますか？

障がい者が安心して生活できる社会を目指し、2017年に事業所を立ち上げました。地域で暮らす人たちがみんな幸せに生活するためには、「働く場所」と「住む場所」が必要だと思っています。そこで、働く場所としてCOLORFULを、また、住む場所としてCHANTというグループホームを運営しています。立ち上げ当初は運営も苦しかったのですが、徐々に利用者や仕事も増えて今は軌道に乗っています。

### Q.2 地域との共生を大事にされているとお聞きしましたが、どんな内容ですか？

事業所は「街なか」に設置しました。そして地域にとって風通しが良く、住民との距離が近い事業所にしたいと思っています。また、地域住民を招いての体験教室を2～3か月に1度のペースで開催しています。体験教室では利用者と一緒にプリザーブドフラワーや鉢植えなどの商品を製作し、ご参加いただいた方からは「障がい者への理解が深まった」などのご意見をいただき、事務所への訪問者も増えました。現在はコロナ禍により中断していますが、収束したらぜひ再開したいと思っています。

### Q.3

### 目指す社会の姿を教えてください。

お互いを理解し合える社会を目指したいですね。自分との違いを受け入れる受容力があれば、差別や偏見などもなくなっていくのではないのでしょうか。異なる意見を最初から否定するのではなく「なぜこうした意見を持つのか」を理解しようと努めることが大事だと考えます。人間は「分からないことへの不安」を抱くことが多いと思います。こうした不安を和らげることで、暮らしやすい地域になっていくといいですね。



### 取材を終えて

取材の中で、「他人との違いを受け入れることで暮らしやすい地域をつくりたい」という小野さんの言葉が印象的でした。また、そのために障がい者と地域住民と一緒に商品をつくる「体験教室」を開催するという実行力も素晴らしいと思いました。

福島県内には、この「COLORFUL」のように様々な創意工夫で障がい者の自立支援を行う事業所があります。それぞれのノウハウを学び合うことで、多様性を尊重する持続可能な社会の実現に少しでも近づこう、今後も取材を続けたいと思います。



## NPO法人 サーチドッグ ふくしま

郡山市



<https://www.k9-fukushima.com>



2022年度の  
出動試験の認定犬

～より多くの命を救うために！～

NPO法人サーチドッグふくしまは、2020年11月に福島県内で設立したNPO法人です。1993年より、全国で災害救助犬活動を行っていた福島県在住のサーチドッグ(災害救助犬)活動家26名が、福島県内での迅速な連携・捜索活動を目指し、NPO法人を設立しました。

※サーチドッグ(災害救助犬)とは…行方不明者の捜索に特化した、訓練を受けた犬で、普段は飼い主と普通に暮らしている。

団体の主な活動は、サーチドッグを活用した災害時・平時の行方不明者の捜索と、サーチドッグの訓練、育成、認定です。サーチドッグふくしまでは今現在9頭の認定犬と1頭の訓練犬の計10頭とともに、小規模訓練を週に1回、大規模訓練を2か月に1回行っています。消防署やレスキュー隊と合同での訓練を行う事もあります。サーチドッグの役割は、

捜索活動だけではありません。東日本大震災でも、サーチドッグは捜索活動のみに留まらず、避難所にいる被災者の心を癒しました。

サーチドッグ活動家の皆さんは、東日本大震災やそれ以前の様々な大規模災害の現場で実際にサーチドッグと共に行方不明者の捜索活動を行ってきました。理事長の西坂さんは「本当は、災害が起きず私たちの活動が行われないことが最も喜ばしいことではあるのですが、活動する中で一番嬉しいことは現場で生存者を発見できた時。その次にご遺体であっても発見できた時です。ご家族の元に帰ることができるのは、双方ともに安心出来ることですから。」とおっしゃいます。

今後は、サーチドッグについてより一層社会的認知を広めるため、県や市、警察や消防との連携を深め、サーチドッグがいち早く捜索現場に入れるような環境を作っていくことを目標にしています。また、サーチドッグふくしまでは、建物の解体現場での捜索や山での遭難を想定した訓練等を行うための場所の提供、山岳遭難者の捜索訓練における遭難者役をしてくださる方など、ともに活動していただけるメンバーや、支援いただける賛助会員も募っています。ご協力いただける方は、ぜひサーチドッグふくしままでご連絡をお願いします。

東日本大震災  
陸前高田市捜索



解体現場での  
瓦礫捜索訓練



### 郡山市市民活動サポートセンター からのコメント

「サーチドッグふくしま」は1993年から、全国での遭難、災害時の犬の派遣、防災訓練、教育機関と連携した教室の開催など災害救助犬活動に携わっています。災害時・平時の行方不明者に対して捜索に関する活動を行い、社会と人々の安全を見守るために訓練を重ね、一人でも多くの命を救うことができるように努力していることを広く正しく認知していただくことが支えとなります。

## NPO法人 南湖森林公園 案内人の会

白河市



<https://nanko-shinrin.jimdofree.com/>



イベント「木工工作」  
家族で椅子作りに  
チャレンジ!

森林の大切さを伝える～自然観察や木工工作を通して～



雑草の中から  
必死に  
探しています。

南湖公園での「オオハンゴンソウ駆除」



イベント「花炭焼きと  
焼き芋と青竹ごはん」

焼き芋作りに  
励んでいます。

「NPO法人南湖森林公園案内人の会」は、南湖森林公園の保全・維持管理を担っており、2012年3月に南湖森林公園を拠点に環境学習や森林との共生を図り、次世代に引き継ぐことを目的に設立されました。

南湖森林公園は、「人が集まり、再び来たくするような里山」をめざし2010年10月23日に開園しました。場所は白河市の市街地中央に位置し、松平定信公が日本で初めて造ったと云われる「南湖公園」に隣接しています。20.4haの広さを有し、市民に散策や南湖の展望を楽しんでもらえる憩いの公園、子どもたちに森林とのふれあいを通じて自然環境の重要性の理解を促進し、楽しく学べる公園を提供することを目的としています。

主な事業内容は、南湖森林公園の「維持管理」です。12月～2月の冬期期間を除く3月～11月の9ヶ月間、毎日当番として配置される1名の当番者が主に施設の維持管理に従事しています。維持管理の基本姿勢は、安全第一、市民に喜ばれる景観をモットーにしています。

次に自主事業である「環境学習」では、小学校・児童施設等からの要望に応じて「自然観察の案内」や「木工工作教室」を実施し、年間約35件(約1,150名)の児童を指導しています。

また、助成金事業として福島県森林ボランティア団体活動支援事業及び里山林整備事業の2件を実施しています。森林整備が順調に進むことで、森林公園を散策する多くの市民、特に女性の皆さんに「明るくなり安心して散策できる。」と好評を得ています。

毎年同じ時期に行っているイベント事業では、公園内で「オオハンゴンソウ駆除活動」と「花炭焼きと焼き芋と青竹ごはん」などを行っています。参加人数は例年約190名。写真では参加者の子どもたちが奮闘している様子が伺えます。

上記のように様々な活動を行っている南湖森林公園案内人の会。「活動メンバーの主体は、福島県もりの案内人養成講座受講修了者ですが、他に登山、子どもたちとのアウトドア活動等を積極的に行っている方々が多く在籍しています。しかし、残念ながら会員の高齢化が進んでいるのが現状のため、会員の増員、特に若い(定年前)方に参加してもらうことが課題となっています。」と副理事長の石川さんはおっしゃいます。

南湖森林公園の美しい自然を守るため、是非皆さんも参加してみたいかがでしょうか。

### しらかわ市民活動支援センター からのコメント

「南湖森林公園」を、市民の憩いの場として、また森林環境教育の場として活用し、都市と山村の交流を図り、次世代に引き継ぐため、「森の案内人」有志により、2012年3月、NPO法人を設立し活動しています。自然環境学習の場として野外での体験活動、また地域交流イベント等への協力などを通し、多くの市民や子どもたちに里山の楽しさと自然環境を守ることの大切さを伝えていきます。駐車場から見る那須連邦に沈む夕陽は、絶景です。ぜひ足を運んでみてください!

# 無理のない防災を考える

今年も全国各地で多くの災害がありました。

いっどこで、災害がおこるかわからない今日。日常の備えが必要です。

「備えにコストをかけられない」、「保管スペースがない」「でも、防災用品の備えは必要？」

そう考える方も少なくないのではないでしょうか？

負担の少ない防災準備はないのでしょうか？今、注目され始めた備えない防災「フェーズフリー」や「ローリングストック」という考え方を取り入れた防災活動について一緒に考えてみましょう！！

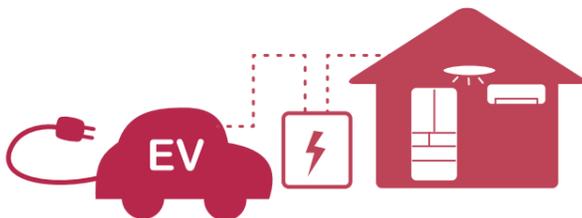


## 「いつも」の暮らしを「もしも」の備えに

防災用品や備蓄品を揃えたものの、「懐中電灯の電池が切れていた」「非常食の賞味期限が大幅に過ぎていた」など、いざというときにうまく活用できなかった経験はありませんか？

「何かあった時に備える」という日常と非日常の区別をやめ、災害が起きた時だけでなく、日常にもメリットのある備えをするのが「フェーズフリー」という考え方です。例えば、キャンプで使い慣れた商品を災害時に活用します。また、レトルトカレーを普段から多めに買って置き、イベント時などに温めてカレーランチという形で低価格で販売し、食べた分を買い足せば1つの「ローリングストック※」という形にできます。さらに、土鍋でご飯を炊くイベントや、ガスコンロを活用するコミュニティイベントを日常で行う習慣があれば、非常時へのシフトも容易です。

また、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車も普段は低燃料な乗用車として使い、非常時は発電機として生活の必要な電力をまかなえるという点で、非常時に役立つアイテムとなります。



### ※ローリングストック法

日常的に非常食を食べて、食べた分を買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法。この方法なら普段から食べているものが災害時の食卓に並び、安心して食事をすることができます。

## 活動事務所での4つの悩み解決ポイント

### ①安心!

いつも活用しているアイテムがそのまま非常時にも使えるから、いざという時にも安心です。

#### これまでの防災

平常時に非常時の状況は想像しづらいので、必要のないものを備え、必要な物が足りないことがある。



#### フェーズフリー

平常時・非常時の壁を取り払う備え方



### いつも

### もしも

#### お気に入りのレトルト食品をローリングストック

手軽、備蓄



食べなれた味が非常食に

#### 土鍋でご飯を炊く

時短、おいしい



停電時もスムーズに

#### 家具を備え付けにする

インテリア性アップ



震災時に転倒の心配がない

#### EV・PHVに乗る

低燃費



発電機として

## 災害と共存する

地震や台風など自然災害が頻発する今日、私たちは常に起こり得る危機と隣り合わせです。特に誰かを支援する活動をする立場にあれば危機管理を視野に入れておく必要があります。従来の方法だけではなく、持続可能な防災に取り組んでいく必要があります。

### 例えば

#### 見守り支援活動

家具の固定やレトルト食品を日常の食事の一部に取りこむ地域でどこに動けない高齢者がいるかなどの状況を把握しておく

#### 子ども食堂活動

カレーのレトルト食品を一部に取り入れる土鍋でご飯を炊く日をつくる

#### 環境支援活動

自然食品でそのまま食べられる物や長く備蓄できそうな保存方法の情報を提供する

#### 子ども支援・環境支援・まちづくり活動

キャンプイベントなどを行う場合、キャンプ用品の使い方をレクチャーし、貸し出せる備品があるかななどを公表する

持続可能な防災に取り組むためには、日々のライフスタイルを「もしも」の観点で見直すことから始めてみてはいかがでしょうか？



# チャレンジインターンシップ活動報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における「福島県非常事態宣言」に加え、県内の急激な感染拡大により「福島県まん延防止等重点措置」が発令される中、受入団体、インターン生の徹底した感染症対策の上、現地、オンライン、それぞれの活動が無事に行われました。その活動の一部と、情報交換会の模様をお伝えします！

## インターン活動

7/19~10/16

夏の暑さにも秋の肌寒さにも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にも負けずにインターン活動を行いました！



初めてのオンライン活動中心のインターンシップ！



インターン活動で学んだことを活かして、SDGsの活動につなげたい！



相馬は歴史と農業の関りが深く、農業無しでは語れない事を知った！



農業の現状や福島県のリアルな状況を知ることができた！

今年度初開催となりました情報交換会。両日とも、Zoomによるオンラインでの実施でした！話し合いの内容から一部抜粋でご紹介します。

### メンター情報交換会 8/25

#### Q. インターン生を受け入れての団体の成果と課題

A. オンラインでの受入をして、こういう開催方法もあるのかと新たな気づきを得られた。

若者の考え方が斬新で考えさせられ、刺激を受けた。農業というものをもっと発信していかなければならないと感じた。

A. 受け入れる方も、学生に事業の説明をすることで、改めて丁寧に事業を進められる。意識を新たにできる。スタッフも考える良い時間になった。

#### Q. このプログラムに参加したことで、団体にとって良かったこと

A. 自分たちの活動を他の団体に知ってもらえる良い機会。原発事故をきっかけに県外で活動しているので、それを知ってもらえるだけでも嬉しい。

A. 他の団体の活動を知れる事。横のつながりができた。

### インターン生情報交換会 8/29

#### Q. こんなことやりたいな、こんなことやりたいな…と思うこと

A. 他のインターン生と会う機会が少なかったので、いろんな団体と合同でワークショップのようなことをやってみたい。

A. インターン生全員対面でどんな活動内容なのか等詳しく聞いてみたい。

A. 活動中にやったゲームが楽しかったので、インターン生全員対面でそのゲームをしてみたい。実際やった時も初対面同士で楽しくできたので、初対面のガチガチの時にやったほうが和むかも。

#### Q. みんなが思い描く理想の福島県とは？

A. コンビニでバイトをしているが、まだ食べられるものが多く廃棄になる。そういうものが使える世の中になればいい。福島の子が減ってほしいと思う。

A. 放射能のために福島から米沢の保育園に通っている子がいる。少しでも放射能が減れば良いと思う。

A. 保育園や幼稚園以外に子どもを気軽に預けられる場所が少ない。もっと子育てがしやすい施設が増えればいいと思う。



12月5日(日)に「令和3年度チャレンジインターンシップ活動報告会・閉講式」を開催しました。

※開催の様子は次号でお伝えします！

# マッチング事業経過報告

令和3年度「NPOと企業等のマッチング事業」は、9月末からスタートしました。主に新規参加者を対象にした「アプローチ講座」を皮切りに、「プレゼン講座」、「企業との情報交換会」を実施。11月には県内4会場にて「NPOと企業のマッチング会」を開催しました。

コロナ禍ということもあり、会場では消毒液やパーテーションを設置するなど、感染症対策に努めました。そのパーテーションを突き抜けるくらい、参加者の皆さんからはアフターコロナを見据え、新しい取り組みにチャレンジしようという意欲が伝わってきました。マッチング会では、NPO・企業ともに協働について熱く語り合う姿も見られました。

連携・協働による社会課題の解決が進むよう、今後はアフターフォローに尽力していきます。



マッチング会・郡山開催の様子



## 「映画でまちづくり」を考える



以前から全国に映画やドラマ、イメージ映像、CMを活用したまちづくりの取り組みが見られます。多くの行政や地域実行委員会が現在でも、この取り組みを企画しています。福島県ではどんな取り組みが行われているのでしょうか？

この秋、南相馬市の映画館「朝日座」を舞台とした映画「浜の朝日の嘘つきどもと」が公開されました。この映画は、閉館することになった映画館「朝日座」の復活劇を、東日本大震災や南相馬市に住む人々の人間模様を背景に描いています。笑いあり、涙あり、人情あり、感動ありのストーリーで南相馬市の風景が各シーンにちりばめられた映画となっていました。昨年秋に関連ドラマが放送されていたので、ご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？映画館「朝日座」は大正時代、現在の南相馬市原町区に地元有志が組合をつくり、芝居小屋を兼ねて開業した「旭座」が施設の始まりとなりました。1952年に名称を「朝日座」に変え、大勢の観客でにぎわいを見せましたが、テレビやビデオの普及に伴い、客足も減少し、1991年9月に惜しまれながら70年の歴史に幕を下ろしています。その後、この歴史ある建物の保存と活用を考え、南相馬市マナビカレッジ事業・

生涯学習振興事業「生涯学習まちづくり講座」の受講生有志で2008年3月に「朝日座を楽しむ会」が設立されました。この会は地域のコミュニティの場として朝日座を利活用することで、保存を考えるきっかけになるのではないかと、DVD上映や建物の見学等のイベントを実施してきました。今回の映画の撮影にも協力をされています。

その他にも、特定非営利活動法人カルチャーネットワーク（白河市）は「白河シネマパラダイス」と称し映画を上映したり、県南地域の映画・テレビ・雑誌・写真集などのロケ支援活動も行ったりしています。また、特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ（福島市）は、2009年に飯坂町十綱橋にまつわる伝承から製作された映画「TOZNA」のロケに協力をされています。

映画製作会社によると、そのメリットは「地域を知ってもらうことのみならず、ストーリーをつくる際に地域の特徴や歴史、魅力を住民とともに発掘することや撮影時のエキストラや裏方など一緒に加わってもらうことで、地域のコミュニケーションや一体感、地域愛が生まれる」とのことです。

「映画でまちづくり」、まだまだ可能性が考えられそうです。



## ほっとハウスやすらぎ

運営：NPO法人ほっとハウスやすらぎ

地元野菜をふんだんに使った彩り鮮やかなお弁当の数々。心のこもった出来たての手作りお弁当は、高校生から主婦、サラリーマンまで幅広い客層から人気を集めています。



「日替わり幕の内弁当」は、1週間を通して様々なお弁当が味わえます。配達には会津若松市内を中心に、市外は応相談となります。大人数のお弁当やオードブルも用意できるのでお早めにお電話ください。

日替わり弁当 500円～  
住所／会津若松市新横町1-17  
TEL／0242-29-0593

【営業時間】  
当日ご注文 8:30～10:30  
お受け取り 10:30～13:00  
【定休日】土・日曜日、祝日  
【駐車場】有り



## コミュニティスペース&カフェ まちの駅 LOTUS WOOD VILLAGE

運営：NPO法人LOTUS



自分へのご褒美に癒し時間はいかがですか？SDGsを体感できるまちの駅ロータス村は、世代を超えてリピーターの多い『木製に特化した絵付けやモノづくり体験が出来るドリンクカフェ』です。お客様より「木の香りで癒される～」の声のとおり、店内は木製グッズが勢ぞろい！素材から選べるピュウフェ形式は、老若男女、楽しめてリフレッシュにも一役買っています。屋外では、コロナ禍のストレスと運動不足を発散する木製のジム『もくジム』がお勧め！

・ベトナムコーヒー ・パタフライピー ・オリジナルレモネード 各350円  
秋冬メニューもお楽しみに♪ 《各種キャッシュレス決済対応》

住所／会津若松市大町二丁目8-14 1F  
TEL／0242-93-8488

【営業時間】 10:00～17:00  
(カフェ・ものづくり/16:30 L.O.)  
※ものづくりは事前予約なしで体験いただけますが、大人数の場合はお問合せください

【定休日】  
月・木曜日 年末年始(臨時休館有り)



# 助成金情報

チャレンジしてみよう!

NPO関連の助成金情報については当センターのウェブサイトをご覧ください。  
<https://f-saposen.jp/category/subsidy/>



### ◇まちづくり

#### 令和4(2022)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成【支援元／一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団】

- 助成対象／今日の人口減少社会、少子高齢化社会等を背景にした住まいとコミュニティに関する課題に取り組む市民の自発的な地域づくり・住まいづくり活動を行う営利を目的としない民間団体を対象。
- 申込期間／2021年11月12日(金)～2022年1月12日(水)※必着
- 上限金額／1件あたり120万円以内
- 参考URL／<http://www.hc-zaidan.or.jp/program.html>

### ◇子どもの健全育成

#### 児童の健全な成長を支援する事業の助成【支援元／公益財団法人 ヨークベニマル文化教育事業財団】

- 助成対象／遊びや運動、心のケアを通じて児童の健全な成長を支援する事業で、福島県内に活動拠点があり、NPO等の法人格を有する4人以上のメンバーが活動している団体を対象。
- 申込期間／2021年12月31日(金)
- 上限金額／1件当たり30万円
- 参考URL／<http://www.ybfoundation.or.jp/>

### ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課  
運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階  
TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741  
E-mail [saposen@f-npo.jp](mailto:saposen@f-npo.jp) URL <https://f-saposen.jp/>

- ◆県内の認証 NPO 法人団体／929 団体
- ◆認定 NPO 法人団体／21 団体 ◆特例認定 NPO 法人団体／1 団体 2021年10月31日現在

### 編集後記

爽やかな秋、学びの秋、仕事山盛りの秋。穏やかな冬を待ち望む秋。【内山】Facebookでさまざまな事業活動報告始めました。ぜひご覧ください。【小野田】天高くどこまでも肥ゆる秋☺【齋藤(美)】おでんが恋しい季節。柚子胡椒がかかせません。【穴戸】アロマで心と体に潤いを…【村松】冬が近づいてきました。タイヤ交換お済みですか？【遠山】ほんと、1年って早い！爆走ならぬ暴走中年!!【齋藤(宏)】深まる秋。温泉でまったりのんびりリフレッシュ!【本田】枯葉が落ちるように一年はあっという間ですね。【武田】